

2016年 昭和南海地震から70年 過去に学び、未来を守る 防災メモリアルイヤー

毎月1点検運動
9月テーマ
『災害医療・救急救命』



9月9日は救急の日です。

救急箱の確認をはじめ、止血や骨折、やけどなどの応急手当の方法を身につけましょう。

正しい人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDの使い方といった心肺蘇生法も学んでおきましょう。

救命の連鎖



急な病気などで倒れた方の救命率を上げるためには、「救命の連鎖」と呼ばれる4つの輪が、途切れることなくつながることが必要です。



個人でできる「心肺蘇生法」～あなたの行動で、助かる命を助けることができます！～

- 意識がない人を見つけたら、勇気を出して、まずは呼びかけましょう！
- 大声で呼びかけて意識を確認します。



- 反応がなければ、周りの人に119番通報とAEDを持ってくることを頼みましょう。



- 近くAEDがなければ、ただちに心臓マッサージを行ってください。

- 「AED」は、電源を入れると音声が流れますので、その指示に従って操作してください。



- 「心臓マッサージ」は、1分間に100～120回の回数で、約5cm（6cmを越えない）の深さで行ってください。

詳しくは次のホームページまで ⇒ <http://www.fdma.go.jp/html/life/>

「救える命」を救うため「救急車」適正利用のお願い！！～その救急要請、本当に必要ですか？～

○本県の平成27年の「救急出動件数」は、32,808件(速報)で、過去最高を更新。1日当たりの出動件数は約90件。この10年間で、19%も増加しています。

○平成27年の「救急搬送者」31,064人(速報)のうち、約46%は、入院を必要としない「軽症」の方の利用でした。



※ 緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用してください。ただし、命に関わる病気や怪我の場合は、迷わず119番通報をしてください。

持病をお持ちの方、障がい者、高齢者、妊婦、乳幼児など治療やケアの継続が必要ないわゆる「災害時要配慮者」の方は…



- 避難時には「お薬手帳」を忘れずに！
- 主治医や介護機関などと、「災害時の治療・ケア」について確認しておきましょう。



☆点検で気づいたこと、うまくいった事例やアイデアなど、皆様からのご意見を募集します。

☆詳しくは県のHP「安心とくしま」をご覧ください。
⇒ 安心とくしま <http://anshin.pref.tokushima.jp/>

とくしま災時記（9月編）

2011(平23)年 9/1～4 台風12号(死者3名)
1976(昭51)年 9/8～13 台風10号(死者10名、全壊流出187棟)
1961(昭36)年 9/16 第二室戸台風(死者11名ほか記録的高潮)
1950(昭25)年 9/3 ジェーン台風(死者・行方不明者38名)
1945(昭20)年 9/17 枕崎台風(死者・行方不明者47名)